

輝け！

しろやま

第152号

城山高校便り
編集委員会〒781-5310
香南市赤岡町1612番地
高知県立城山高等学校
TEL 0887-55-2126
FAX 0887-55-0170

「VとW」

高知県立城山高等学校
教頭 山中 史裕

皆さんは、日々の学習や部活動等、高校生活を送るなかで、どのようなことに気をつけて頑張っていますか。何かチャレンジをしてうまくいったとき、成功したとき、成果をあげることができたときはどのようなことに気をつけていましたか。今取り組んでいることを成し遂げるために、いろいろな努力をしていることと思います。

さて、皆さんには将来の夢や目標があると思います。そんな夢や目標を実現するために大切な言葉がありますので紹介したいと思います。それは、VとWです。

これは2012年にiPS細胞の研究でノーベル生理学・医学賞を受賞された京都大学iPS細胞研究所所長の山中伸弥教授の言葉です。山中教授については、知っている人も多いと

思いますが、2006年にマウスのiPS細胞、2007年にはヒトのiPS細胞の作製の成功を報告しています。iPS細胞は、「再生医療」と「創薬」の二つの分野で人類に多大な貢献をするものとして期待されており、日本だけでなく世界中で研究が進められています。

VとWは、山中教授が一九九三年にサンフランシスコにあるグラッドストーン研究所で、当時の研究所の所長ロバート・メーリー先生から教わった言葉だそうです。あるときメーリー先生は、研究所に在籍する人を集め、「VWが大切だ」、「研究者として成功する秘訣はVWだ。VWさえ実行すれば、君たちは必ず成功する。研究者にとってだけでなく人生にとっても大切なのはVWだ。VWは魔法の言葉だ。」と話されたそうです。

VWのVは「Vision」、Wは「Work hard」で、「目的をしっかりと持ち、それを成し遂げるために懸命に働く」という意味になります。

日本人はハードワークが得意で、夜遅くまで働く人、土日も働く人が大勢います。しかし、いつのまにか目的を見失い、なんのために働いているかわからない状態に陥ってしまう。山中教授もそういう自覚があったので、メーリー先

生のVWの教えが心に響いたそうです。また、メーリー先生の教えである「人間として成功するにはビジョンとハードワークが必要で、どちらが欠けてもダメ」ということから、ビジョンを大切にすること、そしてビジョンを育てるためには教育の力が必要であるとも言われています。

皆さんもご承知のとおり、世界ではグローバル化が進んでおり、いずれ社会に出て活躍するときには、今以上にグローバル化や情報化が進んでいると予想されます。皆さんは、どのような分野に進んでも、世の中の動きを常に意識しながら仕事をしていく時代に進むことになります。ぜひとも、皆さんには、自分の夢や目標を成し遂げるためにも、そして、グローバル化や情報化が進む世界で、活躍できる人になるためにも、「Vision」や「Work hard」の大切さを理解し、実行してほしいと思います。なかなか難しいと思うかもしれませんが、まずは、自分で考えることや自分で何かアイデアを出すなど、できることから始めてみてもいいのではないかと思います。何かを成し遂げたいと思うときなどに、どうすればできるようになるのか、指示待ちではなく、常に自分で考える習慣を心掛け、身に付けてほしいと思います。そのうえで、目的をしっかりと持ち、それを成し遂げるために努力を続けてほしいと思います。

【参考】『山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた』

(山中伸弥 聞き手・緑慎也)

第65回中国・四国地区高等学校

PTA連合会大会岡山大会

総務部長 小原 亜紀

7月14日(金)倉敷市民会館で標記の大会が開催されました。

「倉敷から始める家族旅」と題して、作家・写真家・建築家の稲葉なおと氏の講演では、岡山県下の歴史的建造物を建築家の視点から説明されました。スクリーンにいったいに映し出された美しい写真とともに、高校生の心を動かして旅に連れ出すという豆知識を織り交ぜながら軽妙な口調で講演をいただきました。

高校生による発表では、3校の高校生が学びの場を教室から地域に広げて社会との関わりの中で学びを深めていく「課題解決型学習(PBL)」の取り組みを発表されました。

そして研究協議では、PTA活動としてコロナ禍の中、無観客で行った大運動会を保護者に観てもらえるよう運動会の様子をネット配信しDVDを作成するまでのPTA活動についての発表や、コロナ禍においての学校行事への参加のあり方など、様々な業種からなる保護者の多面的視点からの意見を取り入れた予測不可能な時代での学校を支えるPTA活動が発表されました。

来年度は高知で大会が開催されるので、本校からもたくさんさんの保護者等の皆さまに参加していただければと思っております。



保健講話

9月27日(水)

2年次生を対象に「いのちの教育」を開催しました。現役の助産師さんから、男女の体の仕組みについて、妊娠や出産について、パートナーと性について話し合える関係性の大切さについてお話しいただきました。講話の他にも、妊婦体験や赤ちゃんモデルの抱っこなど、貴重な体験をさせていただきました。生徒の感想からは「命は本当に大切なものだと思った」「自分の人生にとって大切なことが学べた」などが挙がり、自分たちの体のことについて、これからの自分の人生について考えることができ、良い機会となりました。

第2回防災避難訓練

11月1日(水)

今回は、北舎1階調理室からの火災を想定した避難訓練を行いました。火災報知器作動の後、校内緊急放送の後すぐに、ホーム担任の誘導で上履きのままグラウンドに避難を開始し、どのクラスも3分以内に避難・整列を完了しました。

そして、香南市消防署の指導のもと、2・3年次生全員が火災発生場所を見立てた的に水消火器を当てる消火器操作を体験しました。生徒たちは器用に的がけて消火器を使いこなしていました。実施後のアンケートでも、消火方法を理解できたという生徒がほとんどであったので、有意義な訓練になったと思います。



生徒会役員紹介

9月13日(水)後期生徒会選挙が行われ、生徒会役員が決定されました。
残り任期も少なくなりましたが、卒業式や学校行事の充実を図り、学校生活をより良いものにしていくよう、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

会長	野村 祐太	2・B
副会長	久川 悠亜	2・A
副会長	森田このは	1・B
書記・会計	清遠 葵唯	1・A
文化・図書部長	小松 輝	2・A
体育部長	中西 洸太	1・B
人権・環境部長	竹口 翔風	2・B
交通安全部長	高見 翔大	2・B

池清掃

8月30日(水)

生徒会執行部の生徒を中心に教員、ボランティアの生徒が参加して、恒例の中庭の池の清掃が行われました。本来であれば8月7日(月)に実施予定でしたが、悪天候の影響により、8月30日(水)の午後に延期となりました。

昨年度から池で金魚を飼育しており、まずは前日に金魚の捕獲作業を行い、池の水抜きを実施しました。当日は生徒会メンバーを中心に23

名の生徒が清掃活動に参加してくれ、池の周りにこびりついた苔や汚れなどの強敵たちと対峙しながらでしたが、無事に終わることができました。

いも掘り

11月2日(木)

今年度も赤岡中学校と本校の生徒たちによる待ちに待った芋ほりの収穫作業がおこなわれました。

生徒たちはスコップや鍬を使いながら土を掘り続けました。最初のうちは、芋を傷つけてしまうことや掘り続けても上手に芋が収穫できないことに焦りを覚えていましたが、仲間と協力しながら無事に収穫することができていました。大きな芋を見て、驚く生徒や喜ぶ生徒の顔を見ることができる貴重な体験活動となりました。

芋の苗は、本校の卒業生のご家族の方から毎年提供していただいております。これからも地



域とのつながりを大切にしながら、赤岡中学校との交流活動を続けていきたいと思っています。

体験入学

10月5日(木)

本年度の中学生を対象とした体験入学は、参加校10校の中学生37人とその保護者の方や引率の先生方が19人参加してくださいました。

学校説明の後、本校放送部が制作したYouTube動画を視聴しました。城山高校生が考えたオリジナルキャラクター「城高ちゃん」が学校案内をしてくれるので、中学生にも好評です。

体験授業では、各特色を生かした授業を福祉型・商業型・文理型・家庭型に分かれ、体験してもらいました。

施設見学は2グループに分かれ、校内を回り、避難場所にもなっている北舎の屋上にも上がり、災害時の避難場所も確認してもらいました。

高校生活は、ただ楽しいだけではありませんが、体験入学を通して本校に興味を持ってもらい進路選択の参考にしてもらえたらと思います。



修学旅行 2年次生

11月8日(水)～10日(金) 3日間

今年度の修学旅行は、関東方面へ2泊3日で実施しました。この学年は中学校での修学旅行がほぼ中止になった学年だったので、計画通り実施することができ本当によかったです。

1日目集合場所は高知龍馬空港です。飛行機への搭乗が初めての生徒もいました。この日は天気にも恵まれ、途中機内から富士山を眺めることができました。昼食は横浜中華街で中国料理のbuffet形式でした。その後は中華街を散策し、カップヌードルミュージアムでのオリジナル・カップヌードル作りを体験し、赤レンガ倉庫を散策していると、ウエディング撮影に遭遇し、おしゃれな街中の風景とドレス姿の花嫁さんに憧れを抱いた生徒もいたことでしょう。昼間の景色と変わって徐々に日が落ち、イルミネーションや夜景を見ながらホテルへと移動しました。

2日目は東京ディズニーランドです。朝食を済ませ、歩いて10分くらいで移動できました。朝早いものにも関わらず、荷物チェックに並ぶ大勢の人には驚きました。集合時刻までの約10時間。生徒達は夢の国で思う存分楽しんだようです。

3日目はややお疲れモードだと感じましたが、東京スカイツリーに上り、お台場で昼食とショッピング。フジテレビで番組収録を見学した生徒もいました。羽田空港では最後のお土産を抱え込む姿が見られましたが、夕方から天候が悪く、飛行機の到着が遅れたため、羽田の出発や高知への到着が遅れてしまいました。ま

た、空の上でもかなり揺れたので、不安になった生徒もいたかも知れません。

旅行中小さなハプニングは見られましたが、大きなケガや病気もなく無事に終えることができました。それぞれに次なる目標や課題もあるでしょうが、友達と過ごした修学旅行はいつまでも思い出として残っていくことでしょう。



インターンシップ 1年次生

11月7日(火)～9日(木) 3日間

本年度も昨年度に引き続き、地元の事業所からの協力を得て、1年次生25名の生徒が9の事業所に分かれて、貴重な体験をさせていただきました。3日間の活動を通して、働くことの大切さや意義がわかったようです。また、インターンシップ前にはソーシャルスキルトレーニングにも取り組み、人との関わるためのスキル等をしっかりと身につけることができていました。これからの将来に目を向け、自分自身の進路選択について真剣に考えてくれることを願っています。

受け入れ先の皆様ありがとうございました。

インターンシップ受入先

自衛隊

香南市消防本部

タケナカダンボール

大三株式会社

金高堂野市店

高知空港

浜幸

高知ヤマザキ

TOHOシネマズ高知



体育祭

10月27日(金)

本校のグラウンドにて体育祭が開催されました。「今こそ自分をこえるとき!!」をテーマに、生徒会メンバーが中心となって5月から準備を進めてきました。

城山高校の体育祭が通常開催されるのは、令和元年度以来となります。昨年度までは制限のある学校生活の中で学校行事を行ってききましたが、今年の体育祭のように、制限のない学校行事が開催できる喜びを、生徒、教職員全員が感じる事ができました。

競技はこれまでの内容に加え、運動があまり得意ではない生徒でも前向きに取り組める競技を生徒会が考え、「チーム対抗リレー」運動し編く」では、白熱した勝ち抜き戦が繰り広げられていました。

生徒数の減少に伴い、団編成も各学年による構成となりましたが、各学年の親睦を深める良い機会になったと思います。当日は平日開催にもかかわらず、たくさんの方々の保護者等の方や地域の方々に見守られながら実施することができ、生徒もいつも以上の力を発揮できていたと思います。



赤中地区教育懇談会芸術鑑賞会

11月20日(月)

赤岡中学校体育館で赤中地区の保育所・小学校・中学校・高校の児童生徒が集まり、「オルカブラス」の皆さんによる演奏を鑑賞しました。

「オルカブラス」とは、金管5重奏にマルチパーカッションを加えた6重奏を基本構成とするプロフェッショナルアンサンブルです。

オーケストラ等で演奏される曲や運動会で流れるメドレー、アニメの主題歌等、皆が良く知っている曲が演奏され、生演奏の迫力に生徒も聞き入っていました。

最後の曲では、本校1年の片岡真凜さんや中学校の吹奏楽部が「オルカブラス」と共演し、楽しい時間を過ごすことができました。



マラソン大会

11月17日(金)

第74回校内マラソン大会が実施されました。コースは昨年度と同じく男子10km制限時間100分、女子8km制限時間90分を目標に完走目指して取り組みました。

レース内容は、男女ともに上位陣は昨年度のタイムを大きく上回る結果となり、男子の部では3年次生の島崎隆征さんが三連覇を達成。また、女子の部では2年次生の久川悠亜さんが二連覇を達成し、有終の美を飾りました。今年度は『今こそ自分をこえるとき!!』をテーマに体育祭も実施されましたが皆さんは今回のマラソン大会を通して自分をこえることができたでしょうか。



上位入賞者は次のとおりです。

【男子】

第1位	島崎 隆征	(3年)	44分10秒
第2位	有澤 拓海	(3年)	46分11秒
第3位	山本 真聖	(3年)	52分34秒
第4位	池田 海星	(3年)	52分34秒
第5位	小松 輝	(2年)	53分07秒
第6位	梶原 優太	(3年)	53分26秒
【女子】			
第1位	久川 悠亜	(2年)	56分22秒
第2位	片岡 真凜	(1年)	63分07秒
第3位	久川 徠沙	(1年)	67分48秒
第3位	島崎 咲弥	(3年)	70分46秒
第5位	光明院ユメ乃	(1年)	71分55秒
第6位	森下 絢音	(2年)	76分55秒

スーツ着こなし 3年次生

11月15日(水)

『洋服の青山』さんにご協力いただき「スーツ着こなし講座」を開催しました。

前半はスーツの着こなしやメンテナンス方法、ネクタイや靴とのコーディネート、さらにスーツを着用した時のマナーなど、社会人としての心構えを丁寧に教えていただきました。後半はそれぞれが自分のサイズに合ったスーツを試着させていただき、着心地や印象の変化を確認しました。いつもとは違う大人の雰囲気、新生活を迎えるための意識が高まっているように感じました。

命の大切さを学ぶ教室

10月25日(水)

本年度は人権教育講演会として、高知県警のお力をお借りして『命の大切さを学ぶ教室』を行うことが出来ました。

当日は、本校体育館にて、交通事故被害者遺族・三浦由美子さんを広島県からお招きし、生徒・教職員が参加しての講演会となりました。

高校生だったご子息の命を、飲酒していた運転手のトラックの暴走で奪われた三浦さん。当時から現在に至るまでの、三浦さんご本人やご家族の心境や状況を語ってください、3年次生を中心に、真剣に聴き学びとなる貴重な時間でした。

生徒・教職員とも、自分自身や他者の「命」を大切にする言動を、これからの日常生活でより大切にしたいと感じさせていただきました。



遅刻は信頼を失う

教務部長 横田 真一

人間関係は信頼される人になる事が重要。日本社会では遅刻は信頼を失う。毎日同じように遅刻をしている生徒が一定数存在します。同じように遅刻をしてくる生徒は、遅刻のデメリットを考えてください。人間関係を構築するためには信頼される人間になる事が重要。遅刻にメリットは無い。

「次のステージへの準備」

進路指導部長 山崎 ゆかり

早いもので、後期前半が終わろうとしています。3年次生は進学・就職共に試験に臨み、ほとんどの人が進路を決めました。2年次生は進路講話で、進路とどう向き合うかを改めて考える機会をいただきました。そして1年次生は3日間のインターンシップを終えました。不安や緊張が入り混じる中でインターンシップは大変なこともあったかと思いますが、一人一人が経験を積むという点において大きな成果が得られたことでしょう。

さて、そのインターンシップでお世話になった企業、そして3年次生が内定をいただいた企業から沢山のアドバイスをいただきましたので紹介しておきます。どの企業からも高校生のうちにできるようになってほしいこととして声をそろえて言われるのは、①「相手の顔を見て挨拶ができること」、②「ありがとう・ごめんなさいが言えること」、③「言われたことに対して素直に、はい」と言えること」でした。求め

られているのはなんでしょうか。私は、当たり前のことを当たり前にしようとする素直な気持ちではないかと思います。

冬休みが終わればよいよ次のステージに向けての準備が始まります。自分の進路と向き合う時、就職か進学か、どの企業・どの学校にすまかを考えていくのと同時に、ぜひ人として求められているコミュニケーションが、今どのくらいできているかを考え、今後の学校生活に生かしてください。

生徒指導部より

生徒指導部長 西岡 真也

みなさんはNHKのTV番組『チコちゃんに叱られる』をご存知でしょうか。11/17放送分ではなぜ人間の赤ちゃんは産まれてすぐ歩けない？と言う問題でした。馬や鹿は産まれてすぐに歩けるのにどうして人間は産まれてすぐ歩けないのか。少し答えを考えてみてください。い。・・・正解は「お母さんを守るため。」だそうです。お腹にいる赤ちゃんは妊娠している間の母親の大変さを考え、哺乳類の中でも特に早く産まれてくるのだそうです。

更にその後の生活で母親や周りの人を守り支えられていることを強く感じ「人が助け合い、人のために何かしてあげたい。」という人間特有の感情を持つそうです。

また、お釈迦さまは29歳から6年間の修行の中で『どこをさがしても、自分より愛しいものを見出さなかった。そのように他の人々にとってもそれぞれの自分が愛しいのである。それ故に自分を愛する人は他人を害さない。』と悟っ

たそうです。

私は常々、みなさんに関わる周りのの方々に『優しさと思いやりを持ってください。』と集会等で話をさせて頂いています。その方法の一つとして『普段使っている言葉を柔らかな言葉に置き換えてみてはどうですか。』とも言ってきました。本来、みなさんにはその能力が備わっていることをチコちゃんやお釈迦さまを通じて知ることができました。自分に備わっている能力をこれからの生活で使わないというのはもったいないと思いませんか。

大会戦績**サッカー部****秋季大会****(全国高校サッカー選手権大会高知県大会)**

令和5年10月7日(土)

1回戦

室戸・安芸・城山 0-11 小津

今年度から合同チームでの出場が認められ、室戸・安芸・城山の3校がチームを組み、限られた時間の中で、協力してトレーニングに励んできました。1回戦敗退となり、リーグ戦等を通してなかなか結果が出ませんでしたが、生徒は最後まで一生懸命に取り組んでくれたと思います。

3年次生にとっては最後の大会となりましたが、サッカーを通して学んだ事をこれからの人生に活かしてもらいたいと願っています。

卓球部

今年度は久しぶりに東部支部体育大会卓球競技の部に出場することができました。
今後とも応援のほど、よろしくお願いします。

東部支部体育大会卓球競技の部

女子シングルス第2位 岡林 諭柊
女子シングルス第3位 西村 愛美

**ビジネス研究部****第71回高知県高等学校技術競技大会**

「商業の部」

簿記部門（中級）

団体2位

（3A大塚涼貴、小田寛士、近藤大晃）

個人3位（3A小田）

優良賞（3A大塚）

令和5年11月18日(土)

この競技は、一連の取引に関する仕訳をして精算表を正確に完成させるタイムを競うものです。

放送部**高知県高等学校秋季放送コンテスト**

オーディオメッセージ部門

第1位 作品名「乗ろうぜ！電車!!」

ビデオメッセージ部門

第3位 作品名「おらんくのウナギ」

令和5年11月19日(日)



大会に向けて何度も問題を解く中で、一度で完成できたという達成感や何度計算し直しても合わないという悔しさを味わい、集中力と忍耐力を培うことができました。卒業後、会計の専門学校に進学する生徒もいるので、更に簿記の面白さや知識を深めてもらいたいと思います。

主な行事予定

1月9日	全校集会・課題テスト
1月17日	課題別研究発表会
1月23日～26日	卒業考査Ⅴ（3年）
2月7日	香南市企業 合同説明会（2年）
2月15日	業界・企業説明会 & 学部学科別説明会
2月22日	3年登校日
2月29日	卒業式予行・ 校友会入会式
3月1日	卒業式
3月4日～11日	考査Ⅴ（1・2年）
3月11日	全校集会
3月19日	終了式
3月20日 ～4月6日	春休み



昨年度に惜しくも出場を逃した全国総文祭へのリベンジに成功し、全国大会に向けてより良い作品にブラッシュアップしていこうと、より一層活動に熱が入っています。